

弱酸性アミノ酸系シャンプー キトサンジェル配合で更に保湿力アップ

あわわ

キューティクル&地肌ケア 3倍濃縮タイプ 少量で洗浄可能

ノンシリコン/オイルフリー/無着色/無香料

地肌洗いをしたくなる ボディシャンプーとしても使用できます

シャンプーの大半は石油系界面活性剤(食器洗い用と同一の洗浄成分)で作られており、油脂溶解力が強いのでシリコンなど添加して調整しているのが現状です。アルコールで皮膚を消毒した際に余分な水分を取ってしまう現象が起こりますが、石油系界面活性剤による洗浄も同じような働きをし、ブローした後に乾燥肌のようになってしまう「シャンプーを入念にしたのにフケが発生する体験」をお持ちではないでしょうか。また、シリコンの添加も自然な保湿感が得られず、毛の染まりが低下しますので無添加であることが望めます。

あわわは、毛髪や皮膚と同じ蛋白質を構成するアミノ酸と椰子油をベースとした洗浄成分でムース状のクリーミーな泡立ちで地肌とキューティクルをケアしながら洗いあげる今までにない使用感を実現しました。デリケートなカシミア衣類を水で風合い良く洗う専門技術を取り入れ、贅沢な原料をふんだんに使ったレシピで構成し、ノンシリコン/オイルフリー/無着色/無香料としました。

あわわを初めて使用された場合、いつまでも「濯ぎ切れていない感覚」をお持ちになるかと思いたすが泡切れすれば濯ぎは完了しております。また、ドライヤーでブローする時間も長くなりますが、これらは保湿性を格段に高めてある関係で起こる現象です。あわわを使い続けることで傷んだキューティクルを修復してゆき、また、地肌の保湿も向上し、より良いコンディションへ導かれます。

アップグレード&バリエーションの拡大

キトサンジェルをお持ちの方は、シャンプー200mLに原液10mL添加しますと更に保湿性が高まります。オイリーなシャンプーをお望みの場合は、あわわ10mL小分けしアルガンオイルを1滴から2滴お好みで添加し、良く振ってお使いください。

香り付けは、あわわ200mLあたりにお手持ちのエッセンシャルオイル2~3滴添加してお使いください。あわわはボディ・フェイス用シャンプーとしてもお使いになれます。

あわわを10mL小分けして3mL化粧用オイルを添加しますとクレンジングとしてもお使いになれます。

各種シャンプーの詳細説明

弱酸性アミノ酸タイプの長所

- 1: 毛髪と地肌に近い成分で作られているため優しく洗いあげることができます
- 2: 水中の硬度分(カルシウム等)の影響を受けにくい

石けんタイプの短所

- 1: 水中の硬度分(カルシウム等)の悪影響を受け洗浄力が低下します
- 2: 石けんとカルシウムが化合して濡れて開いたキューティクルに入り込みごわつきの原因となる
- 3: pH10.5ほどのアルカリ性で効力を発揮するため中性又は、弱酸性で作ることが難しい
- 4: 蛋白質で出来ている毛髪は、アルカリ性に弱くきしみの原因となる

合成界面活性剤の短所

- 1: 皮膚に対して刺激性を持つ場合がある(蛋白質変性の恐れ)
- 2: 石油系合成界面活性剤の臭気に嫌悪感を持つ場合がある
(香料を添加して臭気を感じさせないようにしている)
- 3: 生分解性が悪く、環境負荷を掛ける



快適シャンプーの仕方

水道水には、カルシウムが入っていることは皆さんご存知ですが、カルシウムは、金属の一種で濡れて開いたキューティクルに入り込み洗い上がりの風合いなどに悪影響を及ぼします。浴槽に重曹等を入れて入浴頂いておりますが、重曹を入れたお湯は、カルシウムの影響を受けにくくシャワーでの洗髪をお避け頂き、浴槽のお湯で行って頂くと柔らかな洗い上がりとなります。また、カルシウムをナトリウムに置き換える「軟水器」(当店HP内参照)をお使いになりますと更に良い洗い上がりとなります。この場合は、カルシウムの影響を受けませんので、シャワーで洗髪しても風合い良く洗いあげることが出来ます。次に、毛穴から脂肪汚れがにじみ出していますので地肌を良く洗うことをお勧めします。生え際から頭部頂点に向かって指の腹を使って地肌から油分を揉みだすように洗って頂きますと毛穴から余分な脂肪分が出て毛根も綺麗にすることが出来ます。

あわわトリートメント

スカルプ&キューティクルケア成分配合

ノンシリコン/無着色/無香料

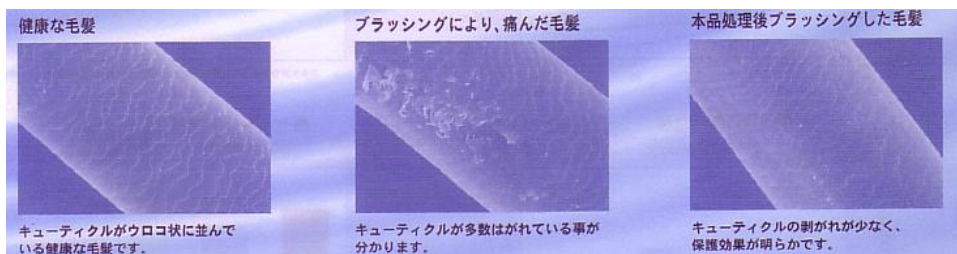
現在、市販されておりますトリートメントの多くは、オイリーでべたつき感があり、またシリコン添加で自然な保湿が得られておりません。私共で好評を頂いております手作り化粧水素材のキトサンジェル(成分名:カルボキシメチルキトサンサクシナミド)を添加することでキューティクルを補修し、頭皮のケアも考慮したトリートメントを開発しました。

通常のトリートメントの使い方は洗髪後施しますが、ヘアコンディションが悪い時は次の方法をお勧めします。

シャワーでの洗髪は、水に含まれる塩素とカルシウム(微粒金属分)の悪影響を受けますので重曹大さじ3杯、クエン酸大さじ1杯、グリセリン10cc入れた浴槽のお湯を推奨します。入浴中にシャワーキャップをかぶりますと更に効果的です！

- 1:髪をサッと濯ぎます。
- 2:あわわトリートメントを髪の長さにより2~4mL髪全体に施し入浴します。
- 3:入浴後にトリートメントを濯ぎ、洗髪します。
- 4:シャンプーを濯いだらトリートメントを施し入浴します。
- 5:浴槽から出ましたら50~100cc程お湯を掛けその水溶液を全身の素肌に馴染ませます。キトサンジェルの作用で美容液のように働き素肌が潤います。最後にサッと髪から全身お湯で濯いで頂ければ完了です。ドライヤーでブローした時、髪の潤いが向上したことを実感されると思います。

キトサンがもたらすキューティクルの保護作用



キトサンジェルをお持ちの方は、洗髪後、ブローを80%ほどして20倍液をスプレーして手串で馴染ませ、再度乾かしますが、最後の5%は冷風で地肌も良く乾かすことを行うと髪がダメージを受けず地肌のコンディションも整います。